

ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第314号

被昇天の準備仰

マヘル神父

私は、数年前にフランスに行った時、3日間ぐらいいルルドで祈って参りました。

今、被昇天の準備をしながら、あの時の素晴らしい体験を思い出しています。

マリア様の信心の大事なことを、肉体と精神で体験しました。

カトリックにとって、マリア様の信心は本当に宝です。信者の慰めと力になると感じました。この記事の中で、もう一度皆さんと考えましょう。

第二バチカン公会議の発表の一つ教会憲章を参考にして、カトリック教会のマリア様についての教えを見なおしてみましょう。

マリアはキリストを懐胎し、生み、育て、神殿で父に捧げ、十字架上で亡くなられた子とともに苦しむことによって、従順、信仰、希望、燃える愛をもちました、人々の永遠の生命を回復するために、救い主に協力された。その為に、無原罪のマリアは、地上生活の道程を終えて、肉身と靈魂ともども天の栄光に引き上げられた。それは罪と死の征服者である自分の子に、マリアがよく似たものとなるためであった。マリアは天にあげられた後もこの救いをもたらす務めを放棄することはなく、かえって数々の取り次ぎをもって、永遠の救いのたまものをわれわれに得させる事を続けられる。マリアはその母性愛から、

子であるわたし達、危険や困難の中にあるわたし達のために、幸福なる祖国に到達するまで、配慮し続ける。このためにマリア様は、教会において、弁護者、の称号をもって呼び求められている。しかし、このことは、唯一の仲介者であるキリストの尊厳と効力から何もものを取り去らず、また何もものをもそれに付加しないという意味に解すべきものである。教会はマリアのこのような神への従順な役割を宣言する事をためらわず、この母の保護に支えられて仲介者・救い主にいっそう親密に一致するよう、それを信者の心に勧めます。

わたし(マヘル)は、水巻教会に来た時、この教会の守護の聖人が、「絶えざるお助けの聖母」であると判って、うれしかったです。

マリアの助けに頼り、前を向いて行きましょう。そして暑い夏を楽しく過ごしましょう。

信仰の証・・・・・・・・・・	2・3面
クリストフォールからのお知らせ	3面
委員会報告等・・・・・・・・	4面
典礼委員会報告・・・・・・・・	5面
社会問題に向き合う・・・・・・・・	6面
聖書への案内・・・・・・・・	6面
教会学校のページ・・・・・・・・	7面
おしらせ・今月の聖人・・・・・・・・	8面

6月2日 大人の日曜学校の報告(2)

信者の証し(信仰への道)、今回は第2回目。坂本初美さんのお話を掲載させていただきます

信 仰 の 証

折尾地区 坂本 初美

私は長崎県平戸市の出身で、平戸大橋を渡り車で20分ほどの島の中北部の小高い丘にある宝亀教会で幼児洗礼を受けました。海と山に囲まれた大自然の中で、木登りをしたり、兄たちと魚釣りに行ったり、天然の自然薯を掘りに行ったりと、都会の子供たちの生活とは全くかけ離れた世界で育ちました。過疎化がすすみ3年前に小学校は廃校となったのですが、当時、宝亀小学校の生徒は全校で90名ほどでしたが、その三分の一ほどがカトリック信者の子供でした。平日のミサは朝6時に始まり、そのミサ後に週一もしくは二回ほど神父様より教会の勉強を受けていました。自宅から教会まで30分ほどの道のりを歩いて行っていました。冬場はまだ夜が明けず、真っ暗でしたのでとても怖かったです。

土曜日の午後は聖歌の練習、5月、10月の聖母月には毎日学校が終わるとそのまま教会へ行き、ロザリオを唱えて家に帰るという風に、教会は第二の学校のような存在で多くの時間を過ごしました。気の合う信者の子供同士と遊ぶのは楽しかったのですが、教会自体の教えや決まり事は子供のころの私にとっては、あまり面白いものではなくどちらかというと、苦痛で出来ることなら行きたくないという思いでした。でも、親からの強い指導と、教会をサボったりしたら神様からの罰が落ちるかもしれないという恐怖が常にあり、参加を怠ることはありませんでした。しかしながら、その後高校生から加入した青年会活動はとても楽しく、大人の世界の入り口を少し覗いているようでワクワクして全ての行事に取り組んでいました。また当時の主任神父様である前田万葉神父様(現 広島教区司教)のおおらかな雰囲気も皆がのびのび活動する土壌となっていたようでした。

このようにもの心ついてから、教会に常に身をおいて過ごしてきましたが、高校を卒業し平戸を出てからは教会から足は遠のき、帰省の時ぐらいにしかミサにも行きませんでした。それでいながら、生活していく中で悩みや問題が生じると、やはり神様に祈り助けを求めることだけはしている都合のよい自分がいやで神様に申し訳ないなあという思いと葛藤がありました。

そのように過ごした20代前半でしたが、24歳の時、あることがきっかけでアメリカのシアトル出身で30年以上日本で宣教活動をしていらっしゃるプロテスタントのご夫婦に出会いました。お二人はキリスト教信者だけに限らず、困っている人、助けを必要としている人のために、奔走しいつも真剣に取り組んでいました。そして多くの人に愛されていました。

私は初めてお二人の生き方の中に「信仰」というものの力を感じました。お二人は私との

交わりの中で、教会の教えや、聖書の言葉を用いて説くといったことは一度もなかったのですが、お二人の偉大な働きがイエス様の教えそのものだとは私には伝わりました。

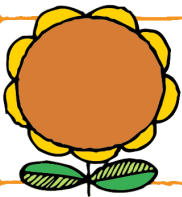
それからのち出会った、クリスチャンの人々の言葉は神様をとて身近に感じさせてくれました。神様は罰を与える方ではなく赦しを下さる方、いつもともにいる方ということ。

私が子供のころ抱いていた厳格ではるか遠い存在という神様の観念が変化しました。恥ずかしながらやっと、私たちと同じ人間としてこの世にいらしたイエス様の存在、十字架上の苦しみ、復活の御業を現実のものとしてとらえることができたのです。これが私の中におきた聖霊の働きだと思います。

信仰とは見えないものに確信を持つということですから、弱い人間にとってはこの信仰の強さにも波があります。でも大きな生き方の道標を頂いたので希望をもって進みたいと思います。

晩年父が仏教徒である私の主人の母に「毎週のように教会に行くのは面倒と思うかもしれませんが 私たちの神様は本当に良い神様で信仰続けてきて良かったと思っているんですよ」と暗に私が教会に行くことを理解してもらえるように話す姿が目につかびます。

私も年を重ね、父と同じ年齢になったとき心からそのように言えることができればと思います。



クリストフォールからのお知らせ 「クリストフォールの紹介」

病人訪問をしているグループです。現在、訪問を希望されている20名の方を、月一回訪問しています。20名を3グループに分けて、第2木曜日、第3木曜日、第4木曜日に、マヘル神父様と会員2名の計3名で訪問します。会員7名は輪番で訪問に当たります。

「病人訪問では」

マヘル神父様は訪問した方一人ひとりに言われます。「私たち（教会共同体）はあなたのために祈ります、あなたも私たち（教会共同体）のために祈ってください」と。

訪問に参加して“聖徒の交わり”の意味が少しわかりました。実践を通して教えていただき感謝です。教会へ行けないけれど、ご聖体拝領を望まれる方はご連絡ください。喜んですぐにご聖体をお持ちします。

お知り合いの方で聖体拝領を希望される方がいらっしゃいましたら、声をかけてください。

「連絡先」は、主任司祭マヘル神父様、およびクリストフォールのメンバーです。

報告者 クリストフォール代表 松尾初美

委 員 会 等 報 告

2013 年 7 月 分

7月度小教区委員会

7月7日

*北九州地区・平和の集いについて

参加者の募集を行います。募集期間は7月14日～8月4日です。

バスで行くように準備をしています。

*聖母の被昇天ミサ

・時間 9時30分です。

・日本の社会では、この日はお盆で死者のために祈っています。納骨堂の死者の親族には信者ではない人もいますので、ミサ後に死者を追悼する簡単な祈りを行うことにします。

*お盆の期間、下記の日程で納骨堂を解放します。

日程については、8面のお知らせをご覧ください。

*敬老のお祝い会

・期日 9月8日(日) ミサの後に行います。

・案内状を遅らせて頂きますので、8月25日までに返答をお願いします。

*第5日曜日の教会掃除について

青年・学生以下の若い人たちに担当してもらうことにします。

お知らせで説明をすることになった。

*巡礼旅行について

・期日 9月23日(月・祭) 8時出発

・目的地 今村教会、太刀洗平和記念館、その他

・参加者の募集 8月4日～25日

・参加費 大人 1,000円 子ども 500円

*土曜日のミサについて

・日曜日のミサに参加できない人のために行います。

・4月以降、参加者はあまり多くない状況が続いています。

しかし、土曜日のミサが行われていることを知らない人が沢山いることも考えられますので、土曜日のミサがあることを知らせてください。

*駐車場について

・新しい駐車場に駐車される方は、必ず奥から詰めて駐車してください。

奥から詰めると、もっと沢山の車が駐車できます。

・教会の前で方向転換をするために、向かいの病院の敷地内に入る方がおられるようですが、絶対に病院の敷地に入らないようにしてください。

2013年度 第2回 典礼委員会議事録

開催日時：2013年7月14日(日)ミサ後 場所：信徒会館

《確認事項》

北九州地区信徒協 典礼部会 第1回会議の報告

1、平和の集い 8月11日(日)

・第1部 各小教区で平和祈願ミサ

(1)「平和の祈り」ミサの意向の後に唱える

(2) 統一共同祈願は戸畑教会で作って21日以降、各小教区へ配布される

(3) 聖歌『キリストの平和』は、水巻教会では拝領の歌として歌う

(4) 東日本被災者支援の献金は、日曜日のミサ献金とは別に献金箱を7月28日より設置します

(5) 奉納は、水巻教会からの霊的花束を教会学校の子どもの作品と合わせて奉納する

・第2部 小倉教会で平和の集い (13:00~16:00)

集いのテーマ 「平和への努力は時のしるし」

講師 後藤 正史神父 (広島教区・幟町教会)

講演の演題 「国是と信仰」

《審議事項》

1、祈りの習慣作りとして、マヘル神父よりの勧め

聖母の月(5月)とロザリオの月(10月)には、ロザリオ5連を。四旬節には十字架の道行きを、主日のミサ前に9時から始めてはどうだろうか。

年間主日についても検討して欲しい

2、死者の月の11月3日(第一日曜)を小教区追悼の日とし、従来どおりに色紙あるいは紙に死者の名前を書いて奉納し、1か月間祭壇脇に置く。ミサで「追悼の祈り」をする

3、ミサの朗読は地区の当番制になっているが、地区委員の意見を聞いて朗読の在り方を話し合う(小教区委員会に提案)

4、聖堂案内係を作り、新しく来られた方の案内をする。説教終了時くらいにミサの参加人数を数える。

5、司会は、お知らせを祝福の前に行う。

6、その他

・聖母被昇天ミサは9時半より行う。ミサの後に死者の追悼の祈りをする。

・ミサ依頼のときは、名前などに振り仮名を入れてもらう。

・聖体拝領前に、洗礼を受けてない方は拝領ができないが、祝福を受けることができることを司会がアナウンスする。

次回開催は、9月15日(日)ミサ10分後、信徒会館

社会問題に向き合うカトリック教会の基本姿勢

Q9. 聖職者は信徒にとって指導者の立場であるので、その「政治的発言」は異なる考えをもつ人を排斥することにならないでしょうか？

A. 「政治的発言」といわれる社会に関する発言に限らず、司祭と信徒の間の見解の相違は教会における対立や、場合によっては疎外感を生じさせる原因となりえます。ですから、司祭の司牧における姿勢が重要です。さまざまな対立視点をもつ人たちとの対話の姿勢が必要なのです。社会に対するかかわりに限らず、すべてにおいて司祭は、一方的な押し付けを避ける必要があります。

しかし、それが社会へのかかわりを軽視する結果になってはいけません。信徒との相互理解を深めながら、社会への適切なかかわり方を探求するために、司祭と信徒の両者による社会教説の学習と社会問題や社会状況に関する深い考察が必要であり、この学習と考察を、司祭と信徒が一緒に行うことが好ましいと思われます。

しかし、それで必ずしも問題が解決できるわけではありません。差別問題などに対して司祭がとった姿勢のために、信徒の反感を買ってしまう例は実際にあります。重大な社会問題に対応する必要がある場合、信徒からの反対があるとしても、司祭がそれに屈してはならない場合もあります。司祭はできるだけ信徒との協力の姿勢をもたなければなりません。差別や格差などの重大な問題について、信徒の態度への懸念のため、司祭が前項の回答に述べた義務を果たさなくなるべきではありません。逆に、社会問題に関心のある信徒に対しては、同程度にその問題の重要性を認識していないとしても、司祭はその活動に、それが教会の教えにかなうものであるかぎり、理解を示す必要があります。



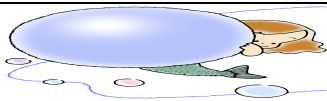
聖書への案内 No.37 ヨハネの手紙 一

解説書には、この手紙はまさに「全キリスト者」への手紙であると書かれています。また、エフェソで書かれ、小アジア(エフェソからアナトリア高原の一带)のキリスト者に読ませる意図で書かれたようで、「ヨハネによる福音書」と同じ著者によって書かれたと見られ、「ヨハネによる福音書」に導入する手紙である。

特に象徴的なのは、**神は光である**という説明によって、御子キリストの血によってあらゆる罪から清められることが強調されています。(1章5節～10節) そしてイエスによって示された「新しい掟」について述べ、「兄弟を愛する人は、いつも光の中におり、その人にはつまずきがありません」(2章10節)とも書かれています。

神の愛については「**愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。・・・**」(4章7節～)と述べています。

是非とも一度読んでみることをお勧めします。



教会学校のページ

7月20日(土)、教会学校錬成会がありました。教会で勉強した後、水巻町のプールに行きました。子ども達の感想を紹介します。



野田明美(4年)

プールにいて楽しかったことは、スライダーがはやかったけど楽しかった。

ミサに使う道具が7こくらいあって名前がいっぱいあって長かったことがわかった。

平田綾香(4年)

《楽しかったこと》

①初めて水巻のプールに行きました。そのスライダーがおもしろかったです。

②わたしは、今日、はじめてさいだんに行きました。とてもすごかったです。とくに道具がすごかったです。

③ステンドグラスを見た時、知らないことがいっぱいあったのでよかったです。

《思ったこと 感想》

9時30分～12時30分までしんぷ様が教会の中のお話しをしたので、ちょっとつかれたけど、おもしろくて楽しかったです。

平田稜祐(6年)

おみ堂の祭だんの左が旧約のことをイメージして、右が新約のことをイメージしているなんてびっくりしました。左右のガラスに順番があるとは知りませんでした。

プールが楽しかったです。

野田宏人(中学1年)

ミサに使う道具の名前がよくわかった。プールが楽しかった。

池松由貴(中学1年)

今日は午前中いろいろなことを教えてもらってとても勉強になりました。

まずステンドグラスの絵について、その絵の意味がわかりました。

次に道具の名前を知ることができました。

今まで何も考えずに見ただけだったけど、すべてに意味があるんだと思いました。

これからはそういうことをよく考えながらステンドグラスなどを見ていきたいです。

坂本素珠(中学1年)

午前中の勉強会では祭だんの上に上がりミサのときに使う道具の説明を聞きました。初めて聞く事ばかりだったので最初はあまり分かりませんでしたが、だいぶ理解できるようになりました。

それにステンドグラスの説明をしてもらってステンドグラスが示している意味が少しわかったと思います。

午後からのプールでは、少ない子ども達ととても楽しい思い出を作ることができました。それに普段学校が違う友達とも長い時間ふれ合うことができ、とても良い日になりました。

今日はいろんなことを学び、そしてたくさん遊びとても楽しかったです。

8月のおしらせ

★聖母被昇天のミサ★

日 時：8月15日(木)
午前9時30分より

★特別献金★

6月23日 聖ペトロ使徒座への献金
38,000円
ご協力、ありがとうございました。

★第13回 北九州平和の集い★

日 時：8月11日(日)
場 所：第1部 各小教区にて
第2部 小倉カトリック教会
(13:00~16:00)

詳しくは、5面や教会で配られているチラシをご覧ください。



【帰天】安らかに

◇6月26日

兼元 浩治さん(遠賀地区)

お盆の納骨堂について

★納骨堂開館日時

8月13日(火)・8月14日(水)・・・午前9時~午後5時

8月15日(木)・・・聖母の被昇天のミサ後~午後5時

★上記の時間に都合が悪い方は、いつでも神父さまにお電話ください。

教会電話番号 093-201-0680

★奉安室のカギを忘れずにお持ちください。

納骨堂委員会 久保園

今月の聖人 **27日 聖モニカ** 332年-387年

モニカは、北アフリカのダガステで生まれ、キリスト教徒の両親に育てられました。パトリチオというローマの官吏と結婚し、3児の母(長男が聖アウグスティヌス)となりますが、40歳のときに夫に先立たれました。彼女は、息子アウグスチヌスの乱れた生活に心を痛めていました。383年に、イタリアに行くアウグスティヌスに同行した彼女は、ミラノでアンブロジオ司教の弟子となり、彼の助けを得て、息子の回心のために祈りを捧げました。モニカの熱心な思いが実って、アウグスティヌスもだんだんキリスト教に心が傾き、386年に回心して洗礼を受けるに至ってます。彼女は亡くなる前、息子に「私がもう少し生きていたかったのは、死ぬ前にカトリック信者としてのあなたを見たかったからです。神はこの恵みを私にくださいました。この世でこれ以上することがあるでしょうか」と言ったといわれています。

アウグスティヌスは、著書『告白録』のなかで、母の思い出を美しく描いている。